

宮城県土砂災害警戒情報システム（概要版）

資料4

◇県内で大雨警報・注意報や土砂災害警戒情報が発表されたら、
宮城県土砂災害警戒情報システム <http://www.doshasaigai.pref.miyagi.jp> を利用して情報収集に努めましょう。

①警報や警戒情報の発表状況を確認



②降雨状況を確認



③土砂災害危険度を確認



④気になるメッシュの詳細情報を確認



⑤気になるメッシュに土砂災害危険箇所があるかどうかを確認



⑥住民等への情報提供・警戒避難体制の構築



電話・メール



テレビ・ラジオ



広報車による周知



声掛け



要援護者のケア



避難場所

避難所の確保

○降雨のタイミングと警戒避難に必要な情報（例）

	住民の行動	住民が必要とする情報
警戒時	前報 土砂災害を懸念し、納束する。土砂災害について学び、納束する。	○土砂災害の実体観がある住民・経験のある者 ・実体観に基づく土砂災害の発生状況 ・実体観に基づく警戒避難のルール ○土砂災害の実体観がない住民：土砂災害を知る ・過去の経験で発生した土砂災害の実態 ・土砂災害関係情報の収集・伝達方法 ・経験の蓄え上の情報を知った土砂災害の事例
	警戒 多様な情報を収集し、土砂災害を警戒する。	○多様な情報の収集 ・報道（気象・気象・気象） ・報道（気象、気象） ・時間的経過（過去、現在、予測） ・インターネットを介した情報の提供（動画、グラフ、地図）
警戒時	判断 自分に必要な情報を取得確認し、避難の判断、タイミングを判断する。	○自分に必要な情報の取得確認 ・気象警報・注意報、土砂災害警戒情報 ・避難所の開設状況 ・国土院の呼びかけ、避難勧告 ・気象庁の発表、土砂災害警戒情報センター情報 ・自治体の防災体制状況 ・自治体内の被災状況 ・道路通行止めやライフラインに関する情報
	避難 地域コミュニティ活動と連携した情報の発信	○避難する人 ・避難の手順（防災訓練の活用） ・自治体や避難所までのルート確保 ・避難後の被災状況 ○避難しない人 ・自ら判断できる情報提供の継続

土砂災害警戒避難事例集（国土交通省 H21.9より抜粋）

土砂災害による被害軽減には土砂災害の発生の恐れのある箇所と発生するタイミングを的確に判断することが重要です。そのためにも降雨が少ない段階からの早めの情報収集・情報提供を心がけ、緊急時に迅速に行動できるようにしましょう。

本システムの利用に関するお問い合わせ：宮城県土木部防災砂防課 砂防・傾斜地保全班 TEL：022-211-3232 E-mail：bousa-sa@pref.miyagi.jp